

令和4年度 第2回 下水道における水系水質リスク検討会

議事要旨

1. 日 時 : 令和4年10月20日(木) 16:00~18:00
2. 場 所 : 日本下水道新技術機構 8F 中会議室, WEB 併用
3. 概 要

■放流水の水質の技術上の基準における大腸菌数について

- 大腸菌群数 3,000 個/mL に相当する数値として提示された事務局案について、全国的なデータを活用し、データ数も十分であること等から数値は妥当であると考えます。
- 引き続き、環境省が所管する水質汚濁防止法における排水基準の検討状況を踏まえ、環境省と調整の上、基準値を確定していくこと。
- 基準値が大腸菌数となった際に、これまで通りの消毒処理で基準値を超過する処理場がある場合は、年間を通じた連続データによる変動の確認や他の水質項目との関係から検討を行うなど個別の対応が必要となる。

■大腸菌数測定法について

- 平板培養法（混積平板法）を基本とすることで問題ない。
- その他の測定方法については完全に排除するという事はせず、測定する試料や水質によってメリットデメリットがあり、精度にも影響することを考慮し、環境省とも調整の上、整理をすること。

以上